



水土里情報システムを利用した施設の管理について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネット熊本、県内の市町村・土地改良区

取組概要

- 内容：①農業水利施設の『位置情報』を、既存の資料や聞き取りを基に特定し、水土里情報システムに登録しています。
また、農業水利施設の諸元等の『属性情報』を、施設台帳等を基に登録しています。
- ②『機能保全計画』の概要を、添付ファイルとして登録しています。
- ③市町村や土地改良区が保有する紙ベースの図面等を、スキャニングして電子データ化しています。

背景：農業水利施設の相当数は、建設から20年以上が経過し老朽化が進行しており、適切な保安全管理が必要です。
適切な保安全管理において、農業水利施設の情報を実実に把握し、日常管理記録や補修履歴情報の一元管理が不可欠です。

作業イメージ

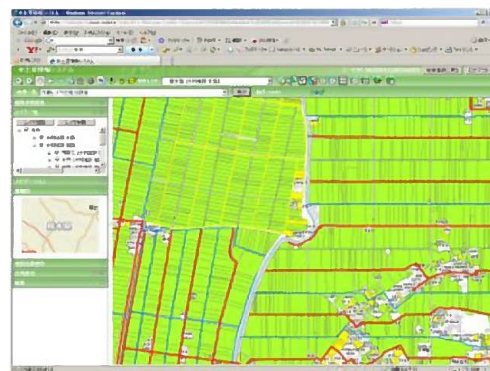


施設台帳等の既存資料



土地改良区へ位置情報の確認を行った図面

位置情報及び属性情報を登録



機能保全計画の概要をアップロード

期待される効果

- ① 図面や台帳の全てを電子化することにより、施設管理者名や施設名称ですばやく施設の位置を確認することができます。
- ② 日常管理や補修履歴等の情報を記録することができます。
- ③ 補修履歴や経過年数等を関係機関と共有することができます。
- ④ 紙図面や台帳を電子化すると、資料を整理できるので、書庫スペースに余裕ができます。



土地改良区の既存の資料や聞き取りを基に作成した用排水路網図

今後の活用予定

県内には、紙ベースで図面や台帳を管理している市町村や土地改良区がまだ多数あるので、この取り組みを通して培ってきた経験やノウハウを基に様式等を標準化し、県内の市町村や土地改良区への普及・展開を図る。

■お問い合わせ先

熊本県土地改良事業団体連合会 会員支援課 水土里情報係 096-348-8802(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添) 03-6744-2212(直通)